

カンボジアの子どもたちにとどくまで

1 **集める**

使わなくなった鍵盤ハーモニカを集めて、JHPに送ってください。小学校高学年からは使わないところも多いようです。所属の学校に、確認してください。

・1台でも構いません。
・すべての音が出るか、一応確認してください。
・恐れ入りますが、送料のご負担をお願いします。

全国各地に広がってきています

2 **清掃**

東京事務所でのボランティアによる清掃風景

音のチェック
・汚れを落とす
・傷んだ吹き口の交換
・アルコール綿で消毒



シールやマークなどは、日本とカンボジアの交流のあかしとして、貼ったまま送ります。

ボランティアの皆さんが頼りです

3 **箱詰め**

出来るだけ無駄の無いよう、隙間をあげないように詰め込まなくちゃ！

横浜にある「大黒埠頭」から年に2度程度輸送します。海上コンテナの費用は高額なので、特別に輸送費寄付のお願いをすることがあります。鍵盤ハーモニカの他に、様々な楽器や机・椅子、文房具等も送ります。年間2000台を目標にしているので、集めるのは大変です。でも、がんばるぞ！みなさん、ご協力お願いします。

4 **輸送**

専用コンテナ船で
ご協力(株)上組

3月・8月の活動隊の
持込み荷物として

ブンベン到着。荷物運びはもちろん活動隊員自ら行きます。好い人に声をかけられて思わず頼んだら、最後にマナーを要求されたり、荷物がどこかへ…。個人の荷物が消えてしまった隊員もあつたりして。大切な物資。みんなで声を掛け合い、確認します。



シアヌークビル港から
ブンベン市の
JHP倉庫へ

5 **ブンベン到着**



子供たちの、この笑顔に出会えただけで、何もいらない…。鍵盤ハーモニカ等を贈ってくださった支援者の皆さんに感謝、感謝。

6 **配布**

TTC(教員養成学校)でのワークショップを終了した教師のいる学校へ

ワークショップは毎年8月に10日間。1年目は初級、2年目から上級で、より高いレベルの内容になります。さらに2002年よりワークショップ修了者を対象に、フォローアッププログラムを半年に8回実施。これは1日6時間を5日間行います。これらの研修をつんだ先生がいる各学校へ、やっと、50台ほどの鍵盤ハーモニカが配られ、音楽の授業が実施されるのです。

支援した学校を訪ねると、いつも鍵盤ハーモニカの演奏で歓迎してくれます。曲はもちろん「スイッチャンティ」



ワークショップ風景

